

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：26029

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>〈共通指標〉より 肯定的な回答をしている割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が思っていることや感じていることを人に伝えている(設問6)・・・81.3%→昨年度よりも2.5%増加しており、自ら学びを進めている子どもが増えた。 ・疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている(設問20)・・・87.1%→昨年度よりも2.6%増加しており、意欲的に学習に取り組んでいる子どもが増えた。 <p>〈全国学力学習状況調査〉より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の短い文章問題がおおむねできている。 →特に、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができる。 <p>〈学力テスト〉より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・算数ともに、対象を具体的に・直感的に捉える基礎力が育っており、自分の感性で表現しようとする能動的な学びの素地が見られる。 	<p>〈共通指標〉より 肯定的な回答をしている割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総じて、自己判断や自己決定に関わる項目について、課題を抱えている。 ・自分の意見を進んで発言しようとしている(設問7)・・・74.5% →他の設問と比べて低くかったり、昨年度よりも低下したりしており、課題を解決するために友達と話し合うなど自ら行動する力には課題がある。 <p>〈全国学力学習状況調査〉より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・算数ともに長い文章の読み取りに課題がある。 ・複数資料を比較したり、関連付けたりすることに課題がある。 <p>〈学力テスト〉より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年からの「一文の正確な構成」や「数と量の不一致」が、高学年における「論理的な情報の再構築」や「抽象的な概念の把握」への高い壁となって現れている。
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p>	
<p>○共通指標の「人のよいところを見付けようとしている。」(90.2%)や「人の役に立ててうれしいと感じることがある。」(93.9%)では、前年度よりも肯定的な回答の割合が増え、学習活動や行事などで日常的に相互承認が高まっていると考えられる。●一方、自分の思いを伝えるために行動する力には課題がある。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

【目指す子どもの姿】 自ら学びを進める力（子どもが自ら課題を見付けたり、解決したりする力）

課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
<p>(1)「自ら学びを進める力」の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> →「自ら学びを進める力」を育むために教師が有効だと考えた手立て(AARサイクルを生かした単元構成やイントロダクションの工夫など)を実践し、成果と課題を明らかにしていく。 →明らかになった成果と課題を交流し、次の実践へと生かす。 →本物の経験を生み出すために必要な6つの場をより意識し、<u>自ら学びを進める力を育む。</u> <p>(2)教職員が課題別のグループを組織し、研修を進める。</p>	<p>①「プラスのまほう」に基づいた、よりよい学級にするための学級活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> →子どもたちで計画、準備して行う係活動 →子どもたちの意見を取り入れた学級の決まり作り →学級のための仕事を責任もって行う一人一役 <p>②よりよい学校にするための活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> →学校の全員のためにすべきことを子どもが考えて行う委員会活動 →各学年が支え合う異学年交流 <p>③学習発表会に関わる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> →目的をもち自己決定する場を設定する中で、相互承認の感度を上げる。
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p>	
<p>◇主に(1)や①②について、複数のツールの中から適当なものを、児童が自ら選択できるような環境を整備するとともに、各ツールの利点などの特色について事前指導の機会を設ける。</p> <p>◇②について、一人一台端末のアンケート機能や掲示板機能などを利用して連絡や活動報告を投稿したり、児童の意見を集約したりして一人一人の意見や考えが可視化、反映されるようにする。</p>	

<本プログラムの実行に向けて>



